

第68回 (新潟)妙高高原のご案内

(★★ 一般向き)

スキーや温泉でも知られている越後の妙高高原へ、恒例となりました2泊3日のさわやかな高原と温泉を楽しむハイキングを計画しました。クラブツーリズムの団体ツアーの往復バスを利用し、妙高山麓・赤倉温泉のホテルに泊まります。

越後富士とも言われる名峰、妙高山(2446m、日本百名山の一つ)のどっしりとした特徴的ある姿は山麓から見る事が出来、豊富な湯量を誇り、古い歴史がある赤倉温泉は、近代美術の祖、岡倉天心の終焉の地でもあります。

(★当初、「裏磐梯高原」の予定でしたが、ツアー会社の計画が変わった為、行先を変更しました)

1. 月 日	2006年8月21(月)～8月23日(水) (2泊3日) (雨天決行)
2. 宿 泊	★(赤倉温泉)「高原ホテル対山」(2泊) TEL 0255-87-2065 (住 所) 新潟県中頸城(くびき)郡妙高高原町赤倉462-2
3. 集 合	・集合場所は2ヶ所ありますので、各自、至近の集合場所を指定して下さい。 横浜発のバスは町田経由で妙高高原に向います。 ①横浜乗場 7:15集合(7:30発) ②町田乗場 8:35集合(8:50発) (集合案内場所、時間等は後日、旅行会社から各人に郵送します)
4. コース	(1日目)横浜→(上信越道)→妙高高原到着後、周辺散策(天心雪椿遊歩道、約2時間) (2日目) 宿→妙高高原(スカイケーブル) 駅→山頂駅よりブナの原生林を見ながら トレッキング(大谷ヒュッテ迄)(5時間)(往復の時、ケーブル代¥1500) (3日目) 宿→バスの出発まで、周辺ハイキング(中部北陸遊歩道) バスまたは徒歩→池の平→イモリ池→苗名滝(片道、徒歩、約3時間)バス併用可 帰路、午後2:30頃、宿、出発→(上信越道)→町田(20:00予定)→横浜(20:50予定) ★天候等により、ルート等、変更します。
5. 持参品	・弁当・水筒・雨具(レインウェアと雨傘があると便利)・タオル、ティッシュ、ハンカチ・ビニール袋(ゴミ、濡れた物など)・嗜好品(菓子、飲み物等)・常用薬(幹事が持参)その他(カメラ、双眼鏡、万歩計、メモ帳、地図、植物図鑑、サングラス、バンダナ、軍手、スッテッキ等、その他、各自、必要なもの) ★昼食は(1日目)弁当持参等、(2～3日目)昼食、現地で対応。(自己解決)
6. その他	・山麓には多くの温泉がありますが、岩石に囲まれた野趣あふれる露天風呂「滝の湯」は有料です。「苗名(なえな)滝」は、日本の滝100選の一つです。 ・池の平の「いもり池」から見る妙高山は、絶好のビューポイントです。 ・期間中、研修等(40分程)を予定しています。 ・現地での移動費(バス、ケーブルなど)、入湯費(ホテル以外)、飲食費は各自負担。 ・バスは他の一般の旅行者も同乗しますが、現地では、私達だけの行動となります。

